

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	農業振興 班
事務事業名	畜産経営環境整備促進事業		事業コード	31530

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	13
施策名	第3施策	農地の保全と農業基盤の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

畜産経営環境整備基礎調査実施要綱(昭和51年国要綱制定)

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
環境整備関連基盤整備(草地、飼料畑の造成改良、ふん尿土地還元農地、並びに付帯する道路等の整備)および関連する喚起京保全施設の整備を推進するため団体営畜産経営環境整備事業等の実施に必要な基礎調査を行う。		市内畜産全農家 60軒 市内園芸組合の耕種農家 206軒	
		対象数	266軒
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
畜産経営環境整備基礎調査実施要綱による地域現況調査 1 地域の現況調査 2 畜産経営現況調査 3 家畜排せつ物処理状況調査 4 畜産経営に係る環境汚染状況調査 5 畜産経営環境整備対策調査 6 農家の意向調査		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	畜産経営環境整備基礎調査 畜産農家回答率	耕種農家の堆肥利用に関する調査 回答率
指標式	全畜産農家数60戸 / 調査回答農家数58戸 (2戸廃業)	耕種農家206戸 / 調査回答農家数117戸
指標設定の意図	全畜産農家の調査回答率により成果を表す	耕種農家の調査回答率により成果を表す

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 96.6	b 100.0	100.0
指標			c 56.8	d 100.0	100.0
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		1,221	1,221	1,221
	人員・時間数		(3人)	(3人)	
	人件費		779	779	779
	その他経費		0	0	0
	合計	0	2,000	2,000	2,000
特定財源			2,000	2,000	2,000

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 76.7%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{96.6}{100.0} \times 100 = 96.6\%$	$\frac{c}{d} \times 100 = \frac{56.8}{100.0} \times 100 = 56.8\%$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由:	平成14年度の新たな調査に当たっては、農家からの回答率のアップができるよう農家の協力を更に求める必要がある。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	都市化の進行に伴い、家畜排せつ物等による悪臭及び水質汚濁等の環境汚染問題が深刻化している中で、本市の状況を把握することにより、環境汚染問題等に対応した施策等の見直しをすることが求められている。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A:妥当である	理由:	
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	基礎調査は県からの委託を受け市が実施しているが、事業内容等から市が実施することが妥当である。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	基礎調査の結果を踏まえ、今後の畜産経営を存続させるための基盤整備と併せて環境に配慮した家畜排せつ物処理施設の整備を早急に実施することが望ましい。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	都市農業の振興取分け畜産振興を図る上で畜産経営に関しての基礎調査は、実情を把握し問題点を明らかにし問題解決のために重要である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 平成14年度も引き続き新たな項目を調査予定である。また、基盤整備計画策定、適用事業の検討並びに基本構想策定等が予定されており、達成率を高めるための取組が必要がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 畜産経営環境事業に係る経費を圧縮することは可能と考える。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	今後の進め方 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了	説明 畜産経営環境整備事業等の実施に必要な基礎調査を平成13年度から平成14年度までの2年間とした。 平成13年度までの取組で現状、問題点等、一定の成果をあげた。更に平成14年度で新たな6項目の調査、基盤整備計画策定等の実施を予定し、畜産経営環境の改善をめざすこととした。

8 二次評価における変更点

--